

令和4年度 社会福祉法人ルミエール 事業報告

1. 総括

本会は、グループ全体で高齢者、障がい者、障がい児を対象としたサービスを提供しており、これらの方々が法律や制度のはざまで不利益を被ることなく、居住する地域社会において一元的にかつ一貫したサービスを受用できる仕組みづくり・組織づくりを進めてきた。

法人においては、理事会、評議員会の運営をはじめ、介護保険事業が適正かつ的確に提供できるよう職員の育成や体制整備を行い、かつ職員が働くに喜びを感じられる職場環境の整備を目差し、人事考課とそれに関連付けた給与体制を進めてきた。

一方、3年間のコロナ禍及び国際情勢の変化や国内政治の停滞の中で、収益の減収と諸経費の高騰による収支バランスの悪化が経営上大きな足かせとなり、全施設の移転計画そのものを一時的にせよ中止せざるを得ない状況となった。ただ、移転土地の取得は済んでおり、「遊休資産化」させないよう検討を始めたところである。

各グループの取り組みではマザーグースの家グループでは、利用者の減少を食い止め、かつ、確実に黒字を出せる部門、すなわちグループホームを創業し、収益構造の転換を図ることとした。穂波園グループでは徐々に正常運営に近づきつつあるものの、部署間の格差の是正と医療をバックに持たないなかでの医療とのチャンネルをどう創り込んでいくかという大きな課題が生まれた。

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、令和5年4月から穂波園で新しい嘱託医をお迎えするなど、大きな方向転換のなかで、心機一転、職員が一丸となり、コロナ感染症で学んだ経験を活かし、コロナとの共存を前提に、ご利用者やそのご家族、板野町民を中心とした地域の方々に向けても安心してサービスを受けていただけるようサービスの質の向上を目指し、積極的な情報発信により信頼を得ながらご利用者の新規及び継続利用につなげていきたい。

【事業内容】

A. 穂波園グループ

穂波園指定介護老人福祉施設
穂波園指定短期入所生活介護事業所
穂波園指定通所介護事業所－予防支援も含む
穂波園指定訪問介護事業所－予防支援・乗降介助サービスも含む
穂波園指定訪問介護事業所(障害福祉サービス事業)
穂波園指定居宅介護支援事業所
板野町高齢者在宅生活支援事業－配食サービス
社会貢献事業－「ほなみサロン」の実施(毎週金曜日に実施)

B. マザーグースグループ

指定障害福祉サービス事業所 マザーグースの家(生活介護)
指定相談支援事業所 マザーグースの家
日中一時支援事業(マザーグースの家)
放課後等デイサービス事業(マザーグース7)

C. 法人本部

職員の福利厚生の実施のための規程等の整備－嘱託職員の退職共済への加入に伴うもの
施設移転及び建設のための土地の取得に伴う諸手続き

2. 組織運営

1) 現在の組織体制 令和5年3月31日 現在

A. 理事 (7名)

藤岡 裕子 多田 二雄 中川 正一 鏡 和博 松下 悦子

影石公昭 別頭啓輔

B. 評議員(9名)

北原翠子 齊藤勝明 富永ユリ 東條義人 吉田美恵子
林祐次郎 多田令修 加藤律子 石川和宣

C. 監事(2名)

片山隆司 大北英昭

D. 苦情解決第三者委員(2名)

林祐次郎 連記富子

2) 会務の運営

(1) 法人監事監査

令和4年5月23日 於) 穂波園指定通所介護事業所

(2) 理事会

○第1回: 令和4年5月31日 於) 穂波園指定通所介護事業所

【審議事項】

- ① 令和3年度 事業報告の承認について
- ② 令和3年度 貸借対照表・事業活動収支計算書及び資金収支計算書、財産目録等
財務諸表等の承認について
- ③ 社会福祉法人ルミエール施設移転について
- ④ 評議員会の開催について

【報告事項】

- ① 理事長及び業務執行理事の業務執行報告について

○第2回: 令和4年10月18日 於) 穂波園指定通所介護事業所

【審議事項】

- ① マザーグースの家 障がい者グループホーム「Hope1」の設立について
- ② 育児・介護休業等に関する規程の全面改正について
- ③ 社会福祉法人ルミエール施設移転基本設計にかかる経費について
- ④ 特別養護老人ホーム穂波園施設移転について
- ⑤ 評議員会の開催について

【報告事項】

- ① 理事長及び業務執行理事の業務執行報告について
- ② 令和4年度事業・予算の執行状況報告について
- ③ マザーグース7における実地指導並びに業務管理体制の監査結果について

○第3回: 令和5年3月7日 於) 徳島県立総合教育センター 研修室3

【審議事項】

- ① 令和4年度社会福祉法人ルミエール収支補正予算書(案)の承認について
- ② 令和5年度社会福祉法人ルミエール事業計画(案)の承認について
- ③ 令和5年度社会福祉法人ルミエール収支予算書(案)の承認について
- ④ 社会福祉法人ルミエール定款の一部改正(案)の承認について
- ⑤ マザーグースの家グループホームの入札手順の承認について
- ⑥ 施設移転予定地の活用について
- ⑦ 評議員会の開催について

【報告事項】

- ① 理事長及び業務執行理事の業務執行報告について
- ② 徳島県による指導監査並びに実地指導の結果について

(3) 評議員会

○第1回:令和4年6月21日 於)板野町文化の館 視聴覚室

【協議事項】

- ①令和3年度事業報告の承認について
- ②令和3年度貸借対照表・事業活動収支計算書及び資金収支計算書、財産目録等財務諸表等の承認について

【報告事項】

- ①社会福祉法人ルミエール施設移転について

○第2回:令和4年11月8日 於)板野町町民センター 会議室1・2

【協議事項】

- ①マザーグースの家障がい者グループホームの設立について
- ②マザーグースの家障がい者グループホーム土地の取得について
- ③特別養護老人ホーム穂波園施設移転予定地の土地の取得について

○第3回:令和5年3月28日 於)板野町町民センター 多目的ホール

【協議事項】

- ①令和4年度社会福祉法人ルミエール収支補正予算書(案)の承認について
- ②令和5年度社会福祉法人ルミエール事業計画(案)の承認について
- ③令和5年度社会福祉法人ルミエール収支予算書(案)の承認について
- ④社会福祉法人ルミエール定款の一部改正(案)の承認について
- ⑤施設移転予定地の活用について

(4) 職員採用試験等の実施

・嘱託職員の正規職員化:令和5年3月5日 穂波園 1名 小論文と面接

(5) 社会保険労務士―山瀬 真由美氏とアドバイザー契約の更新

・月1回の定期的な指導及び電話等による随時指導

(6) 苦情解決第三者委員打ち合わせ会の実施

令和4年7月21日 於)穂波園指定通所介護事業所

3. 事業の推進

1) 本部内の情報共有の推進

会議形式の情報共有から「LINEWORKS」「ZOOM」「Slack」等ソーシャルメディアも活用した情報共有を図った。

2) 施設移転の推進について

コロナ感染の収束の見通しが無いまま世界的社会経済情勢の大きな変化の中、物価の高騰による当初の施設移転の計画変更を余儀なくされ、施設全体の移転計画は一旦白紙に戻した。しかしながら、収益が見込めるマザーグースの家のグループホームの建設については、むしろ早急に取り組む必要から来年度の出発を目指し、土地の購入をはじめ、設計施工について具体的な検討に入ったところである。併せて、マザーグースの家の裏山については、借家、借地の整理を含め、あとあとの使用用途を検討し、購入した。

業者との打ち合わせは月一回を基本としたが、土地購入契約やコロナ感染や工程計画の検討のため臨時的に開催し、都合14回の開催となった。

3) ホームページの運用 (<https://www.lumiere-tokushima.com>)

※R4.4.1～R5.3.31の実績 訪問者数延べ 26,158人 一日平均約 72人の訪問
最高 146人(R4.8.5金) 最低 40人(R5.1.22日)

(管理上の閲覧も件数に含むため実際の訪問者は数字より少ない)

4) 災害対応に向けて

- (1) 通信アプリ「LINEWORKS」を利用し、定期的に災害時安否確認訓練の実施
- (2) 非常事態の対応力の強化を目指し、「自主防衛手当」の該当者についても非常時のオンコール体制へ組み込むことを検討した。
- (3) 事業継続計画(BCP)策定のための研修会参加とコロナ感染計画の策定に掛かったところである。
- (4) 福祉避難所初動マニュアルの情報収集

5) 人材確保と育成

- (1) ハローワーク、人材派遣会社への求人依頼とホームページ上で求人情報公開
- (2) Web 研修等外部研修情報の提供

6) 徳島県の指導監査への対応

- ・特別養護老人ホーム穂波園(障害居宅介護)、マザーグースの家…実地監査

7) その他

- ・各種団体への永年勤続等表彰の推薦…全国老人福祉施設協議会
- ・穂波園「衛生管理委員会」の運営とストレスチェックの実施
- ・ハラスメント対策の推進

【課題】

- a) 職員養成・育成のための人事考課や研修体系及びキャリアパスシステムの整備充実
- b) 災害発生時(パンデミック感染も含む)に対応する BCP(事業継続計画)の継続見直し
- c) 業務のマニュアルの作成と業務のチェックリストと業務の標準化の推進
- d) 緊急時・有事の際に動ける体制づくりと訓練の実施
- e) 運営規程及び契約書、重要事項説明書の変更
- f) 施設移転の練り直し